

# あつぎ市議会だより



第245号 発行日/2019年8月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700



本市最大のイベント、あつぎ鮎まつり大花火大会。  
今年は第73回目で、8月3日(土)に開催予定

## 6月定例会議

### 一般質問 道路・交通安全・福祉などを論議

#### 広報広聴 新庁舎建設 特別委員会が調査・研究の状況を報告

6月定例会議は、5月24日から6月17日までの会議期間25日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、固定資産評価審査委員会委員の選任や固定資産評価員の選任のほか、人権擁護委員の候補者の推薦、条例の改正、工事請負契約の変更、不動産の取得、一般会計補正予算の11議案です。

このうち、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「固定資産評価員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について」を除いた8議案は質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

第2日から第4日までの3日間、議員18人が登壇し、一般質問が行われました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された案件に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「固定資産評価員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について」に対する質疑が行われ、採決の結果、いづれも同意しました。

その後、各常任委員長から審査結果が報告され、2会派による討論が行われ、採決の結果、委員会に付託された全議案を可決しました。

#### 条例の改正

可決した条例の一部改正議案は5件です。

「厚木市自転車安全利用促進条例」の主な改正内容は、神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の施行に伴い、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

「厚木市附属機関の設置に関する条例」の主な改正内容は、新たな附属機関を設置するため、改正するものです。

このほか、法律や省令などの一部改正に伴い「厚木市市税条例」「厚木

約の契約金額を「11億9678万2560円」から「11億9970万3060円」に変更するものです。

#### 不動産の取得

可決した不動産の取得議案は、次のとおりです。

◇目的Ⅱ(仮称)厚木市学校給食センター建設用地  
◇取得する土地Ⅱ三田字天神上528番4ほか10筆

◇地籍Ⅱ6300・06平方メートル  
◇取得金額Ⅱ1億7955万1710円

#### 補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、国庫補助金を活用し、未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の措置や国の社会資本整備総合交付金の追加採択が見込まれることから、本厚木駅南口地区市街地再開発事業補助金を増額するものです。

このほか、自主防災隊に対し、防災資機材

#### 本市議会議員2人が表彰

― 全国市議会議長会 ―

6月11日、東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会会長から奈良握議員が議員在職30年以上の特別表彰を受け、また、神子雅人議員

が議員在職15年以上の表彰を受けました。

在職15年  
神子 雅人 議員

在職30年  
奈良 握 議員

などの整備に必要な経費の一部を補助するため、地域防災組織育成補助金の措置や移動図書館車わかあゆ号の整備を行うため、移動図書館整備事業費などを措置するもので

補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額(カッコ内)は次のとおりです。

◇一般会計Ⅱ865億8682万1千円(2億7459万4千円増)

#### 固定資産評価審査委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴う後任委員として、遠藤進氏(岡津古久)の選任についての議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

#### 固定資産評価員の選任に同意

固定資産評価員とし

#### 人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員14人のうち、江藤玲子氏(飯山)

の任期が満了することに伴い、横浜地方方法務局長から後任委員の推薦依頼を受けた市長から意見を求められ、引き続き同氏を推薦することに賛成全員で同意しました。

2面下段に続く

#### 主な内容

|            |      |
|------------|------|
| ◆一般質問      | 2～5面 |
| ◆広報広聴特別委員会 | 3面   |
| ◆委員会の審査    | 6面   |
| ◆特別委員会の報告  | 7面   |
| ◆本会議の審議結果  | 8面   |



今定例会議では、18人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

## 8050問題への取り組みは

あつぎみらい 沼田 幸一議員



問 取り組み状況は。答 市長 生活の困窮や社会からの孤立が懸念されるため、地域包括支援センターなど各支援機関との連携を図り、早期の支援につなげられるよう取り組んでいる。

## 農業政策

問 耕作放棄地解消や後継者育成の取り組みは。

答 鳥井理事 農業委員と農地利用最適化推進委員が、年4回農地パトロールにより状況を調査している。また、本年度、国の事業の採択が農地の利用権設定のみで可能となり、年齢要件も緩和された。本市も農家の後継者支援を行っていききたい。

## 道路環境整備

問 交差点から約10メートル以内の歩道整備は、

## 厚木市都市マスタープラン改定の進捗状況は

あつぎみらい 高橋 豊議員



問 進捗状況と改定の主な視点は。

答 市長 昨年度、厚木市都市マスタープラン改定等検討部会や地区の皆さまのご意見を伺い、全体構想の検討を進めた。改定の主な視点は、人口減少社会への対応などの全国的な課題や圏央道などの開通、厚木秦野道路などの事業進捗を見据えた産業用地の創出などが重要と認識している。

## 愛甲石田駅周辺整備

問 駅前北口広場全体計画の進捗状況は。

答 市長 昨年度、交通環境の現況と課題を整理した。今年度は、これらを解決する対策を国や県などの関係機関と協議し、その結果を愛甲石田駅周辺交通環境整備構想

答 市長 都市マスタープランで、駅周辺を本厚木駅周辺の都市機能



愛甲石田駅前北口広場。朝夕の通勤通学の時間帯は、駅利用者で混雑する

## 中町第2・2地区に建設予定の複合施設

問 進捗状況は。

答 市長 複合施設および周辺整備の基本的な考え方をまとめている。

## 児童・生徒の交通安全教育にどう取り組むか

あつぎの会 奈良 握議員



問 現状と課題は。

答 教育長 指導計画に基づき、交通ルールの順守など、発達段階を踏まえ適切に指導している。また、警察やトラック協会などの協力で交通安全教室を実施している。今後も、交通安全教育の充実に努める。

## 文化財の保護

問 保存上の課題は。

答 教育長 歴史や文化を正しく理解するため、適切な保存に努める必要がある。特に重要なものは、文化財保護審議会への諮問を経て指定文化財として指定し、保護、保存を図っている。

## 図書館の建設計画

問 検討の中で、行いたい但不可能というものはあるか。

## 土地区画整理組合の設立認可事務に問題はないか

あつぎの会 井上 敏夫議員



問 設立認可申請書の作成委託や準備段階の調査を全て担当課で発注し、その後、準備組合からの申請書の受理まで同

答 市街地整備担当部長 県内の施行時特例市、中核市でも、認可を行う課と事業を推進する課の課長は同じという状況がある。本市では課長が異なっており、組織上分かれていると認識している。

## 旧依知分署跡地の管理

問 山際の土地区画整理予定地の中に旧北消防署依知分署の跡地があるが、管理を消防総務課や財産管理課でせず、区画整理の担当課でしている経過は。

答 財務部長 市有財産規則第4条のただし書きにより、密接に関連する事務事業がある場合は所管課の管理にできる。通常は消防から財産管理課に引き継ぐが、今回はまちづくり推進課に引き継がれ、普通財産として管理している。

問 土地区画整理費に跡地の草刈り業務委託があるが、土地区画整理費の目的に沿った支出か。

答 市街地整備担当部長 事業区域内の公共管理委託として計上し、業務委託により除草作業を実施している。今後、土地区画整理の事業化を目指すため、まちづくり推進課で適正な管理に努めている。

## 議員提出議案

可決した議員提出議案は、「厚木市議会委員会条例」の一部改正の1件です。

主な改正内容は、予算決算常任委員会を設置することに伴い、所要の措置を講ずるため、改正するものです。



## 政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。次のことは違反になります。

- ◆落成式・開店祝、葬式などの花輪・供花
- ◆入学祝・卒業祝、お中元やお歳暮、病氣見舞い
- ◆地域のお祭りへの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆秘書などが代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典
- ◆町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ

## コンピュータ・システム 改革の進捗状況は

無会派 高田 浩議員



問 私が提案したコンピュータ・システム改革による削減額・節約効果額は合計で幾らとなるか。

答 オリンピック・パラリンピック担当部長

オープン化した基幹系情報システムでは、これまでの5年間で約5億8400万円を削減し、これからの5年間で約5億8600万円の削減を見込んでいる。教育委員会での約1億6千万円の削減と合わせて、約13億3千万円の削減額を見込んでいる。

### ●婚姻届記念証の工夫

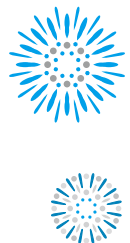
問 新郎新婦が結婚した際のお互いの気持ちを後に振り返ることができるよう、婚姻届記念証に2人の手紙を入れられる工夫をする考えは。

答 市民健康部長 婚姻届を提出されたご夫婦に喜ばれ、お二人の絆がより深まるように、そして人生の大切な記念として残るように、研究していきたいと考えている。

問 行政視察で来られたかたがたに厚木市内でお金を使ってもらうことが大事である。行政視察の受け入れについて、市内の宿泊施設や飲食店の利用も含めた状況を全庁的に取りまとめ、視察内容と担当部署を明記した年次報告を作成し公表してはどうか。

答 総務部長 年次報告の取りまとめや公表については、事務管理を所掌する総務部で対応していく。

問 交通マスタープランにおいては、公共交通の維持や利便性の向上に



## 公共交通の将来について 市の考えは



新政あつぎ 高橋 知己議員

問 需要動向と見通しは。

答 まちづくり計画部長

20年後を想定し策定を進めている(仮称)厚木市総合都市交通マスタープランでは、鉄道・バスの需要は、市の定住人口減少に伴う影響はあ

るものの、今後の産業用地創出推進による昼間人口の維持・向上、公共交通の利便性の向上などにより、現状維持もしくは微増を見込んでいる。

問 交通マスタープランにおいては、公共交通の維持や利便性の向上に

## 信号機のない 横断歩道への安全対策は

公明党 田上 祥子議員



問 日本自動車連盟(JAF)が平成30年に行った、信号機のない横断歩道における車の一時停止率の全国調査で、一時停止した車は全体の8・6%しかないとの結果が出た。ほとんどの車が一時停止をしていないのが実態である。本市において、信号機のない横断歩道での安全対策をどのように進めていくのか。

答 市長 横断歩道の安全対策について、中学校の通学路を中心に交通関係団体や自治会の皆さまの協力のもと、登下校時の児童・生徒の安全確保に取り組んでいる。信号機のない横断歩道や交差点などには必要に応じ、交通啓発看板や路面標示およびカラー舗装などを設置している。今後

ついて、具体的な目標と目標値が必要と考えるが、今の考えは。

答 まちづくり計画部長

大きな目標である市の持続的発展のために、郊外の住宅団地の交通環境の改善と既存企業従業員の通勤環境の向上、生産効率の向上が交通マスタープランの目標になると考えている。

●運転免許返納後の現  
状生活サポートの仕組み

問 高齢者が自ら車を

も引き続き、ソフト、ハードの両面で交通安全対策を積極的に進めていく。

●振り込め詐欺防止対策

問 本市では、29年3月に厚木市振り込め詐欺等被害防止取組方針を策定しているが、被害ゼロに向けて大きな効果があらわれる、録音機能付き電話機の貸し出しサービスを実施する考えはあるか。

答 市長 神奈川県において、被害に遭った方や、遭う恐れのある方などに迷惑電話防止機器の貸し出しを行っている。貸し出し状況などを踏まえ、今後についても、多くの市民の皆さまにご利用いただけるよう、周知啓発に努めていく。



運転しない生活スタイルも選択可能なまちづくりが求められている。市の制度を含めた諸制度の情報提供をするチラシなどを作成する考えは。

答 協働安全部長

平成30年11月に厚木市高齢運転者免許返納等に係る支援等推進委員会をつくり、市のサービスへのアプローチや返納後の支援制度を検討しており、ご提案のチラシも現在作成事務を進めている。

## 中心市街地の活性化に 向けた今後の取り組みは

あつぎみらい 松田 則康議員



問 複合施設建設のコンセプト、具体的なスケジュール、民間活力の導入についての考えは。

答 市長 現在、厚木市複合施設等整備検討委員会をはじめ、4千人の市民の皆さまへのアンケートやワークショップの開催などでご意見をいただき、令和7年度の完成を目標に図書館、(仮称)こども未来館、市庁舎などから成る複合施設や周辺の整備に向けた基本的な考え方をまとめている。今後、できるだけ多くの方々から意見を伺いながら、基本計画で、

中町第2・2地区周辺の整備方針、サードプレイスを踏まえたコンセプトや民間活力の導入方法を示していく。

●小中一貫教育

問 中一ギャップの解消は図られているか。

答 教育長 小学校での中学校教員による指導や、交流による中学校での体験授業により、中学校生活に対する児童の不安を軽減するなど、一定の成果を生んでいる。

問 いじめは減少しているか。

答 教育長 小・中学校が連携し、いじめ防止の活動の推進や、児童・生徒の理解の共有により、いじめの認知が進み、改善率が向上している。

問 学力の向上は図られているか。

答 教育長 小・中学校合同の研修会などで、一貫性、系統性のある指導が進み、児童・生徒の学力向上が図られている。

### 会議録の閲覧を！

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができるまでの間は、インターネット議会中継(録画放送)もご覧になれます。

## 都市再生緊急整備地域の 優位性は

あつぎみらい 渡辺 貞雄議員



問 平成16年に本厚木

駅周辺地域の約20％が都市再生緊急整備地域に指定されたことによる優位

## 広報広聴 特別委員会から

議会報告会には、これまで延べ46会場で1491人の参加をいただきました。ご参加の市民、団体の皆さまには、改めて感謝を申し上げます。

平成27年6月制定の厚木市議会基本条例では、「議会は、市民に対し議案等の審議及び審査の内容を報告するとともに、市民と自由に意見を交換する場とする」と定め

ました。さらに29年には、公務として取り扱うことで、全議員が一体となり取り組める環境を整えました。また、適切な資料やプロジェクトの活用により、参加者に分かりやすく、実施内容も「報告」から「市民との意見交換」に軸足を移すなど、たゆむことなく改善・改革を進め、今後も開かれた議会の推進を図ってまいります。

(高橋知己)

などの優遇措置が適用されている。また、国が指定した区域での事業となることから、交付金の採択基準の中で、優先度は高くなつてくると考える。

問 指定後15年間の実績と委託費は。

答 市街地整備担当部長

中町第2・2地区およびその周辺整備に関する権利者や民間事業者への意向調査、事業手法の検討ならびに交通環境の調査、計画など、29年度までの委託費は約1億4千万円である。

●高齢者タクシー助成事業

問 29年度から、世帯員全員が85歳以上の方への助成事業として開始されたが、申請者が少ないため、今年度予算は開始

しました。さらに29年には、公務として取り扱うことで、全議員が一体となり取り組める環境を整えました。また、適切な資料やプロジェクトの活用により、参加者に分かりやすく、実施内容も「報告」から「市民との意見交換」に軸足を移すなど、たゆむことなく改善・改革を進め、今後も開かれた議会の推進を図ってまいります。

問 対象年齢を75歳以上にする検討は。

答 福祉部長

この制度で継続したいと考えているが、市民の皆さまの意見を聞きながら調査を続けたいと考えている。



## 8050(はちまるごーまる) 問題への対応は

公明党 寺岡 まゆみ議員



問 80代の親が50代の子どもの面倒を見る8050問題で、悩んでいる家庭が大変に多い。大人のひきこもりの相談について、振り分けをして方向性を示すスペシャリスト的な人材を育て、相談者が安心してまた相談につながる必要があると思うが、いかがか。

答 福祉部長 専門窓口を置くのではなく、相談者の課題に応じた相談が受けられるよう各種相談窓口を設置し、複合的な課題に各担当者が連携して対応していきたい。

●低所得者への更新料補助  
問 公営住宅で民間賃貸住宅に住む方は、更新費用などの捻出が大変であり、不公平感がある。既に取

●防犯カメラの設置拡大  
問 小中学校の通学路に既に設置している箇所

## 子どもの医療費助成 制度を拡大する考えは

日本共産党 釘丸 久子議員



問 対象を高校3年生まで拡大してどうか。

答 市長 十分な研究が必要だと考えている。今後も、子育て家庭のニーズに合った多様な支援の充実に取り組んでいく。

問 対象を拡大した場合の予算増額の規模は。

答 こども未来部長 1億4千万円程度の増額と試算している。限られた予算の中ではあるが、候補の1つとして今後も調査していきたい。

問 医療費助成は何のために行うのか。

答 こども未来部長 子育て世帯の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができるよう実施しており、市民の満足度は高い。病気の早期発見・治療にも有効である。



本市では、子ども医療費助成を中学校卒業までの子どもを対象に行っている

## 消防水利の現状と 管理における課題は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 市内の消防水利の整備状況は。

答 消防長 国の基準に対する充足率は約98%で、基準外を含め、平成31年4月1日現在、消火栓が2378基、公設の防火水槽が675基、私設の防火水槽が1286基、その他プールなどが53基設置されている。

問 私設の防火水槽は適切に管理されているか。

答 消防長 消火活動

## 山際・山際北部地区の まちづくりの進捗状況は

公明党 川口 仁議員



問 土地利用の方針は。また、防災機能を備えた公園整備の予定は。

答 市街地整備担当部長 神奈川県の方針では、工業地として計画的市街地整備の検討を進め、見通しが明らかになった段階で農林漁業調整を行い、市街化区域へ編入するとされている。防災機能を備えた地区公園の用地確保を含めたまちづくりは、関係部署と連携し公園の整備手法を検討していく。

●安心安全なまちづくり  
問 防犯カメラ設置を積極的に推進する考えは。

答 市長 地域の実情を勘案し検討していく。

●公共施設最適化  
問 藤塚児童館および老人憩の家は、早期に複合施設建設を進めるべきと考えらるかどうか。

答 こども未来部長 立地環境の危険度や老朽化などの現状、機能面の課題は認識しており、地

## いのちを守る 取り組みは

新政あつぎ 新井 啓司議員



問 特定妊婦とは。また、本市の現状と見解は。

答 こども未来部長 児童福祉法では、出産後の養育に産前前から支援を行うことが特に必要と認められる妊婦と定義され、安全な出産・育児へつながるよう妊娠期から支援を行っている。件数については、平成30年度が29件で、5年前の11件から18件の増である。

●市民後見人  
問 本市の市民後見人の状況は。

答 福祉部長 市民後見人養成講座を修了した45人中、本人が希望し、市民後見人候補者の条件を満たす6人が候補者名簿に登録され、そのうち1人が市民後見人として、厚木市社会福祉協議会と共同で活動している。

●成人式  
問 障がいのある新成人の方への取り組みは。

答 こども未来部長 成人式の開催に当たり、

## 再生可能エネルギー 活用の方向性は

新政あつぎ 新川 勉議員



問 再生可能エネルギーの活用について、本市の対応は。

答 市長 平成25年度に策定した、あつぎ元気地域エネルギー構想実行計画に基づき、各種施策を実施している。

●環境農政部長 自治体新電力会社は再生可能エネルギーによる電力の地産地消の推進につな

●厚木市立病院  
問 地域の中で、どのような病院にしていきたいと思っているか。

答 病院事業管理者 地域で完結できる医療に向け、地域の病院や地元

## 在宅ひとり暮らし老人 登録制度の課題は

あつぎの会 山本 智子議員



問 課題は何か。

答 市長 超高齢社会で単身高齢者の増加に伴い、本制度を必要とする対象者の把握が重要である。

●地域コミュニティ交通  
問 実証実験を踏まえた課題と今後の展開は。

答 まちづくり計画部長 採算性に課題はあるが、利用者からは好評であった。バス路線までのアクセスを、定時定路線型かデマンド方式で乗り合い交通にするか今後検討したい。

●環境問題への取り組み  
問 イベントなどで環境を意識した取り組みは。

答 市長 平成26年度に策定した環境配慮指針に基づき、環境に優しい物品の使用や提供などに取り組んでいる。

## 地域コミュニティ交通の 実証実験の状況は

公明党 山崎 由枝議員



問 実証実験の状況は。

答 まちづくり計画部長 昨年11月12日から12月21日までの6週間実施した。鷲尾ルートは全体で延べ370人、まつかげ台・みはる野ルートは全体で延べ555人の利用があった。

●空き家対策  
問 現状と取り組みは。

答 市長 平成28年度に実施の実態調査で755戸の空き家を確認した。現在は、民間事業者など8団体と協定を締結し、所有者を対象とした合同相談会の開催や空き家の活用に向けた取り組み、空き家の解体、流通促進のための補助事業を実施したことで、空き家

●学校規模の適正化  
問 小規模校および大規模校の課題は。

答 教育長 小規模校では、集団中での児童・生徒の人間関係が固定化しやすいなどの課題がある。一方大規模校では、教職員が児童・生徒一人一人の状況を把握し、共有することが難しいなどの課題がある。今後も、児童生徒数のより正確な将来推計を行うなど、教育環境の維持向上に努めていく。

●保育園の安全確保  
問 5月8日に発生した滋賀県大津市の園児の事故を受け、対応は。

答 こども未来部長 5月10日に注意喚起と国からの通知も周知した。安全への要望は個別に対応している。また、県

●新庁舎建設  
問 建設地の決定に当たり、市民から住民投票を求める多くの声がある。

答 政策部長 意見交換会をはじめ可能な限り市民参加手続は手厚く行っている。ご意見は市の方針と異なる方が多いかと思うが、市民参加のステップを踏む中で、住民投票の必要はないものと総合的に判断している。



小中学校における小規模校および大規模校は、メリット・デメリットがそれぞれある

| 平成30年度 政務活動費会計報告 |                |               |             |               |               |               |             |
|------------------|----------------|---------------|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 会派等略称<br>(所属議員数) | あつぎみらい<br>(9人) | 新政あつぎ<br>(6人) | 公明党<br>(5人) | あつぎの会<br>(5人) | 日本共産党<br>(2人) | 改革あつぎ<br>(2人) | 無会派<br>(1人) |
| 交付額(A)           | 6,480,000      | 4,260,000     | 3,600,000   | 3,600,000     | 1,440,000     | 720,000       | 660,000     |
| 支出額              | 調査研究費          | 1,390,906     | 132,602     | 620,095       | 231,035       | 0             | 16,240      |
|                  | 研修費            | 689,328       | 302,402     | 1,036,315     | 431,216       | 557,236       | 498,364     |
|                  | 広報費            | 2,212,855     | 2,232,285   | 1,080         | 722,190       | 438,000       | 30,380      |
|                  | 広聴費            | 689,403       | 94,960      | 364,562       | 207,179       | 6,816         | 84,425      |
|                  | 要請陳情活動費        | 0             | 0           | 0             | 0             | 0             | 0           |
|                  | 会議費            | 0             | 0           | 0             | 11,522        | 0             | 0           |
|                  | 資料作成費          | 181,984       | 132,300     | 145,290       | 420,069       | 14,501        | 51,206      |
|                  | 資料購入費          | 529,487       | 261,310     | 350,150       | 353,058       | 113,164       | 41,525      |
|                  | 人件費            | 0             | 0           | 0             | 0             | 0             | 0           |
|                  | 事務所費           | 246,028       | 0           | 71,238        | 120,000       | 0             | 0           |
| 合計(B)            | 5,939,991      | 3,155,859     | 2,588,730   | 2,496,269     | 1,521,888     | 104,640       | 691,760     |
| 残額(A-B)<br>(返戻額) | 540,009        | 1,104,141     | 1,011,270   | 1,103,731     | 0             | 615,360       | 0           |

※会派「改革あつぎ」は4月30日付で解散し、5月1日付で所属議員であった「高田浩議員」は「無会派」となり、「井上武議員」は会派「新政あつぎ」に加入しています。また、会派「あつぎの会」所属議員であった望月真実議員は3月29日付で辞職しています。その他、会派構成などについては、8面をご参照ください。

※改革あつぎの残額(返戻額)615,360円は、会派解散後、高田浩議員と会派「新政あつぎ」に300,000円ずつ再交付されています。

## 市民からの相談にSNS を取り入れる考えは

あつぎの会 名切 文梨議員



問 子育て・教育環境を、拡充した支援策は。子どもを指す本市で、子どもが命を落とす事件が4件発覚している。市民からの相談体制などの改善の1つとして、SNSの活用が有効と考えるが、取り入れる考えは。

答 こども未来部長 昨年度、東京都と神奈川県が「LINE相談」を試行している。試行結果を受け、県が今後どのように動くのか注視し、検討していきたい。

●保育所民営化の効果額  
問 民営化の際、その効果額はもみじの手と小児医療費助成の拡大の増額分に充てると説明された。多くの保護者の反対を押し切り進めた民営化であり、納得できる使途を示すことも責務と考え

●買い物弱者対策  
問 本市の買い物弱者の現状と対策は。

答 市長 高齢者など、買い物に不便や苦勞を感じている方がいると認識している。既に、高齢者バス割引乗車券購入費助成事業、農業協同組合の移動販売車ゆめみちゃん号の運行支援などを行っ

の総数は減少している。しており、新たに、商業施設も巡回コースに入れた地域コミュニティ交通の実証実験を行っている。今後も地域の皆さまや民間事業者と連携して対応していく。

### ホームページの 議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報をご覧になれます。

- ◆インターネット議会中継  
本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録(本会議・常任委員会など)  
委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他  
議員名簿、議会データ、一般質問通告一覧、子どものページ、議長交際費など。

厚木市議会

検索

# 委員会の審査

条例・補正予算など

一主な質疑と答弁一



条例の改正や補正予算などの議案について、委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

## 総務企画

○厚木市火災予防条例の一部を改正する条例について  
問 対象となる施設はあるのか。

答 市内に1件あり、住宅宿泊事業法に基づく民泊施設として神奈川県に登録がされている。

○令和元年度厚木市一般会計補正予算(第2号)

【所管科目】

問 地域防災組織育成補助金について、自主防災隊の資機材は、具体的に決まっているのか。

答 ワンタッチ式のテント、灯籠、発電機、非常用トイレとトイレのセットである。

問 指定避難所等安全対策事業について、調査する急傾斜地の場所はどの辺りか。

答 萱山交差点近くの公園付近にある急傾斜地である。市道が通り学校も近隣にあり、事業名のとおり指定避難所等で学

## 市民福祉

○厚木市自転車安全利用促進条例の一部を改正する条例について  
問 自転車の保険加入について、神奈川県条例が本年10月からの施行となるが、どのように変わるのか。

答 今回、県の条例で自転車の保険加入が義務化される。併せて、加入の確認などを自転車販売事業者が行うことを規定している。本市ではこれまで、先導的な役割として条例を制定していたが、これまでの努力規定以上の厳しい規定が県で制定されたため、保険加入についての役割はここで終えたと考えている。

ただし、まだヘルメットなど、先導的な動きを本市では行っており、引き続き努力していく。

## 委員会の所管事項調査

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。このほど実施した4常任委員会の調査は次のとおりです。

### ◆総務企画常任委員会

5月8・9日、KIRISHIMAみらいカフェについて(鹿児島県霧島市)、選挙コンシェルジュ鹿児島について(鹿児島県鹿児島市)

◆市民福祉常任委員会 5月8・9日、障がい者千五百人雇用事業について(岡山県総社市)

◆環境教育常任委員会 5月9・10日、地産地消の取り組みについて(愛媛県今治市)

### ◆都市経済常任委員会

5月9・10日、佐賀市街なか再生計画および佐賀市中央大通り再生計画について(佐賀県佐賀市)



## 議会用語

解説



### ■付託

本会議の議決を要する事件(案件)について、詳しく検討をするため、所管の常任委員会などに審査を委ねること。

### ■請願・陳情の採択、趣旨採択

採択は、請願・陳情の内容について、願意が妥当であり、法令上、行財政上、実現性がある場合に、議会として賛同すること。

また、趣旨採択は、願意については十分に理解できるが、財政事情などから、当分の間は願意を実現することが困難な場合などに、「趣旨には賛同」という意味で議決すること。

## 環境教育

○不動産の取得について  
問 (仮称)厚木市学校給食センター建設用地の取得に当たり、近隣への説明の状況は。

答 昨年8月に説明会を開催し、事業への理解を求めた。近隣の方から建設工事の内容について説明の要望があったため、施工業者決定後、工事について説明する。

問 交通量の増大や道

答 計画地東側の市道は8月に拡幅している。工事の進捗に合わせ市道の整備ができるよう、また、県道の整備状況を見据え、道路関係部局と調整していきたい。

○令和元年度厚木市一般会計補正予算(第2号)  
【所管科目】  
問 中央図書館運営事業について、移動図書館の更新に当たり、名称はわかあゆ号のままにするのか。また、車のデザインに制約はあるのか。

答 交付金の配分については、国の考え方に基

## 都市経済

○令和元年度厚木市一般会計補正予算(第2号)

【所管科目】

問 本厚木駅南口地区市街地再開発事業に対し、社会資本整備総合交付金が1億円増額された理由は。

答 交付金の配分については、国の考え方に基

かつ建築工事に着手しているなど、効果が早期に期待できる事業が重点配分対象となる。本事業は、国からこの配分の考えに合致すると認められ、今回の1億円の追加採択になったものと認識している。

## 議会運営の在り方など 議長の諮問に答申

議会運営委員会

平成30年10月2日に、難波達哉議長が諮問した「議会の在り方に関する検討について」に対し、令和元年

5月24日付で議会運営委員会(川口仁委員長)から答申がありました。答申の内容は次のとおりです。

### 答申書

#### 【検討事項】

議会の在り方に関する検討について

#### 【検討結果】

それぞれの項目については、次のとおりとする。

諮問事項1 予算及び決算の審査方法について

予算決算常任委員会を組織し、厚木市議会会議規則第92条に規定する分科会を設置して審査を行うのは、令和元年第2回厚木市議会第4回会議(9月定例会議)からとする。

諮問事項2 会派結成等における委員会構成への反映の原則について

これまでと同様に、議案が発生した際に会派構成比率に基づき、会派代表者会議で協議することとする。

諮問事項3 議員提案条例の具体化について



難波達哉議長(左から2人目)へ答申書を手渡す川口仁委員長(左から3人目)(左端=遠藤浩一副議長、右端=渡辺貞雄副委員長)

これまでも同様に、各会派等の意向を会派代表者会議で協議し、取りまとめたものを議長から申し入れることとする。

諮問事項4 議会事務局の強化について

議会事務局は、これまでと同様に市長部局の法制担当と連携を図るとともに、職員の研修をはじめとした自己研鑽により、調査機能及び法務機能の充実・強化に努めていくこととする。

諮問事項5 議会の意向反映のルール化について

これまでと同様に、各会派等の意向を会派代表者会議で協議し、取りまとめたものを議長から申し入れることとする。

# 特別委員会の報告

— 広報広聴特別委員会 —  
— 新庁舎建設特別委員会 —

第2回会議（6月定例会議）最終日、広報広聴特別委員会の越智一久委員長と新庁舎建設特別委員会の田上祥子委員長から、付議事件に関する調査研究の報告が行われました。

本会議での報告内容とそれぞれの報告書に記載の意見などを紹介します。

## 広報広聴 特別委員会

本特別委員会は、平成27年8月7日に設置されて以降、付議事件であります議会の広報広聴活動の推進のための調査研究について、これまで24回の委員会、55回の委員協議会を開催してまいりました。

この間、あつぎ市議会だよりの編集や議会報告会の運営方法の検討・協議を行うとともに、4市議会への行政視察など精力的に行ってまいりました。

あつぎ市議会だよりは、定例会議などの内容を中心に、市民の皆さまにより議会に関心を持っていただけるよう、作成してまいりました。

議会報告会は、この4年間で7回開催してまいりました。運営に当たっては、街頭キャンペーンをはじめ、各常任委員会がそれぞれの会場を担当し、予算および決算の報告とあわせて、一般市民や団体の方々を対象に地域の話題や関心の高いテーマを設けた意見交換を実施するなど、より多くの市民の皆さまに参加していただけるよう工夫してまいりました。さらに、意見交換の中で話題となった事項について、議会として国や神奈川県に対し意見書の提出も行いました。

そして、それぞれの議会報告会終了後には、課題の抽出や改善策の協議を行い、よりよい議会報告会となるよう全議員が一丸となって取り組みました。

議会報告会については、議会における広報および広聴活動を同時に行える重要な場であり、継続的に取り組んできたことにより、広報広聴の推進や開かれた議会に寄与できたものと実感しております。

行政視察は、鹿児島県薩摩川内市議会、岐阜県高山市議会、北海道帯広市議会および福岡県大牟田市議会の4市議会を視察するなど、先進事例の調査研究も行っていました。

これらの点を踏まえ、今後も議会として広報広聴活動のさらなる推進に向け、継続的な調査研究に取り組みれることを期待し、報告書に記載の意見を付して本特別委員会の報告といたします。

### 各委員からの意見

#### 1 あつぎ市議会だよりに ついて

(1) 本会議の審議結果については、現在の会派別での賛否掲載方法を、議員別に掲載との意見もあったが、紙面の都合上、現在の掲載方法を維持されたい。

(2) 議会活動を積極的に発信し、より市民に身近な議会となるよう紙面を工夫されたい。

#### 2 議会報告会について

(1) テーマは、話題性のある市民の関心が高い事項や子育て世代や若い方を対象にした事項を中心に選定されたい。

(2) 一般市民を対象とする議会報告会は、4常任委員会が持ち回りで担当されたい。

(3) 座談会形式やワークショップ形式の導入など、意見が出しやすく気軽に話せる環境づくりに努められたい。

(4) 毎年2回(例：5月、11月頃)開催されたい。また、開催時間の時間配分については、市民との意見交換が十分にできるよう運営の工夫をされたい。なお、終了時間については延長するなど、柔軟に対応されたい。

(5) 開催場所については、市内地区で偏りがないうよう開催されたい。

(6) 周知に当たっては、市議会ホームページや議会だよりのほか、公民館だよりや地域団体等を通じて周知を検討するとともに、街頭キャンペーンに加え、地区行事を活用したキャンペーンを実施するなど、状況に応じて対応されたい。

(7) 当日の資料として、パワーポイントを使用する際は、見やすいよう文字の大きさに配慮するとともに、複数箇所投影するなど工夫をされたい。

(8) 議会報告会当日の状況を記録する会議録の作成については、工夫されたい。

(9) 議会報告会で出された要望等は、早期解決に努められたい。また、議会報告会の質疑等は、議会だよりへ積極的に掲載されたい。

(10) 議会報告会は、議会基本条例で定められており、また公務であることとを再認識されたい。

### 広報広聴特別委員会

委員長 越智 一久  
副委員長 栗山香代子  
委員 瀧口慎太郎  
寺岡まゆみ  
山崎 由枝  
高橋 知己  
田口 孝男  
沼田 幸一  
井上 敏夫



昨年11月に開催された第13回議会報告会

### 新庁舎建設 特別委員会

本特別委員会は、平成29年8月8日に設置以降、厚木市庁舎整備など

における諸課題について調査研究し、これまでに、先進地への視察を含め、27回の委員会などを開くなど、精力的に調査研究を行ってまいりました。

この間、30年5月には、新庁舎建設・整備に係る基本構想の策定に向けた要望書を厚木市長に提出したほか、30年12月には、周辺整備についても幅広い議論ができるように、議員提出議案を提出し可決され、市庁舎のみならず中町第2―2地区周辺整備等に関する調査研究ができるようになりました。

また、31年2月には、厚木市議会基本条例に基づく理念の具現化を目指す議会活動を行うため、(仮称)複合施設等整備基本計画の策定に係る議会機能への要望書を厚木市長に提出しました。

新庁舎建設は、将来にわたる重要な事項であるため、執行機関におかれましては、新庁舎整備基本構想の策定後、(仮称)複合施設等整備基本計画の策定に取り組みられていることから、多くの皆さまの御意見などをお聴きし、市民の皆さまへの丁寧な説明を果たされるとともに、中町第2―2地区周辺の全体計画について多角的な視点から十分に検討され、引き続き、市議会への定期的な説明、報告をされることを望みます。

この点を踏まえ、今後

も議会として新庁舎整備のさらなる推進に向け、継続して調査研究に取り組みれることを期待し、報告書に記載の意見を付して、本特別委員会の報告といたします。

### 各委員からの意見

#### (1) 中町第2―2地区 周辺計画に関する こと

中町第2―2地区だけでなく、周辺地区全体を面として考え、にぎわいの創出や人の回遊性を含み、全体計画の調査研究を行うこと。

(2) 複合施設の機能に関する  
こと  
多くの市民が利用できるサードプレイスに合致した施設とし、国、県施設の合築や議会機能の要望も踏まえた計画にするほか、商業誘致など民間活力の導入についても調査研究を行うこと。また、災害時における災害本部機能や交通処理についても調査研究を行うこと。

(3) 道路整備に関する  
こと  
中町第2―2地区周辺は、交通渋滞が想定されることから、渋滞解消に向け、具体的な周辺道路整備手法および適切な駐車場台数の確保について調査研究を行うこと。また、バス・タクシーは、関係者と協力し、

利用者の視点から交通・ミナミ機能をもった計画となるよう調査研究を行うこと。

(4) 現庁舎跡地利用に関する  
こと  
現庁舎跡地については、市民の意向を反映し、にぎわいの創出や回遊性を含む活用方法となるよう調査研究を行うこと。

(5) その他  
厚木市の一等地である中町第2―2地区への庁舎建設は、市民への説明責任が果たされているかどうか、近隣自治会とのパートナーシップを構築できるような調査研究を行うこと。

### 新庁舎建設特別委員会

委員長 田上 祥子  
副委員長 新川 勉  
委員 名切 文梨  
瀧口慎太郎  
井上 武  
釘丸 久子  
渡辺 貞雄  
越智 一久  
川口 仁



現在の本庁舎

本会議の審議結果

| 第2回会議（6月定例会議）提出案件 |                                                   | 各会派の賛否 ○…賛成、●…反対 |    |     |     |     |     | 議決結果 |
|-------------------|---------------------------------------------------|------------------|----|-----|-----|-----|-----|------|
|                   |                                                   | みらい              | 新政 | 公明党 | あつぎ | 共産党 | 無党派 |      |
| 議案第41号            | 固定資産評価審査委員会委員の選任について                              | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 同意   |
| 議案第42号            | 固定資産評価員の選任について                                    | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 同意   |
| 議案第43号            | 人権擁護委員の候補者の推薦について                                 | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 同意   |
| 議案第44号            | 厚木市自転車安全利用促進条例の一部を改正する条例について                      | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 可決   |
| 議案第45号            | 厚木市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について                    | ○                | ○  | ○   | ○●  | ●   | ○   | 可決   |
| 議案第46号            | 厚木市市税条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例について                  | ○                | ○  | ○   | ○●  | ●   | ○   | 可決   |
| 議案第47号            | 厚木市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について                  | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 可決   |
| 議案第48号            | 厚木市火災予防条例の一部を改正する条例について                           | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 可決   |
| 議案第49号            | 工事請負契約の変更について                                     | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 可決   |
| 議案第50号            | 不動産の取得について                                        | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 可決   |
| 議案第51号            | 令和元年度厚木市一般会計補正予算（第2号）                             | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 可決   |
| 陳情第1号             | 奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税で計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情 | ●                | ●  | ●   | ○   | ●   | ●   | 不採択  |
| 陳情第2号             | 地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情                  | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 趣旨採択 |
| 議員提出議案第2号         | 厚木市議会委員会条例の一部を改正する条例について                          | ○                | ○  | ○   | ○   | ○   | ○   | 可決   |

◎「陳情第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情」は、所管の委員会での審査結果が「趣旨採択」であったことから、趣旨採択することについて本会議で採決した結果を掲載しています。

◎令和元年6月17日議決時の会派構成など

※議長…難波達哉（議長は採決に加わりません）、副議長…遠藤浩一

※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員（〃は代表者）

みらい…あつぎみらい（9）：神子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ（6）：石井芳隆、井上武、高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司 公明党…公明党（5）：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 あつぎ…あつぎの会（4）：奈良握（議案第45・46号反対）、名切文梨、山本智子、井上敏夫 共産党…日本共産党厚木市議員団（2）：釘丸久子、栗山香代子 無党派…無党派（1）：高田浩

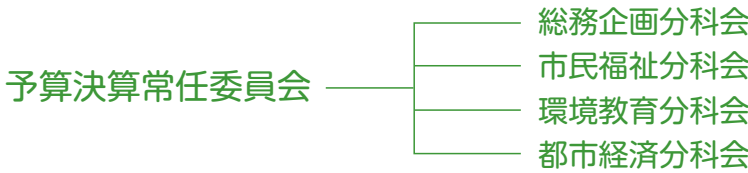
厚木市議会委員会条例の一部を改正

厚木市議会では、令和元年第2回会議（6月定例会議）の最終日に「厚木市議会委員会条例の一部を改正する条例について」を可決し、厚木市議会委員会条例の一部を改正しました。

主な改正点は、これまで総務企画・市民福祉・環境教育・都市経済常任委員会で審査してきた予算・決算議案を新たに設置した予算決算常任委員会が所管することになりました。

予算決算常任委員会に付託された議案は、部門別の分科会で分担し、詳細に審査します。

なお、予算・決算以外の議案については、これまでどおり総務企画・市民福祉・環境教育・都市経済の各常任委員会で審査いたします。



6月17日に「かりゆし議会」を開催

友好都市を締結している沖縄県糸満市との友好交流のより一層の促進を図るため、6月17日（月）の厚木市議会第2回会議（第5日）に「かりゆしウエア」を着用して議会を行いました。



第3回会議の開催予定日

●本会議  
8月7日(水)…議長・副議長の選挙など



第4回会議(9月定例会議)の開催予定日

●本会議  
9月2日(月) ……議案等質疑  
9月6日(金)・9日(月)・10日(火) ……一般質問  
10月7日(月) ……委員長報告・討論・採決



●常任委員会・分科会  
予算決算…9月2日(月)・10月4日(金)  
総務企画…①9月13日(金) ②24日(火)  
市民福祉…①9月17日(火) ②25日(水)  
環境教育…①9月18日(水) ②26日(木)  
都市経済…①9月19日(木) ②27日(金)  
①は所管の議案審査（決算を除く）、②は所管の決算議案審査  
◆広報広聴特別委員会…10月7日(月)（本会議など終了後）

会議は、原則として午前9時に開きます。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。